



ないことか



B 44786

あきし後ましたられないけってんとう 忘れく樹下后上を栖く一人了特了衣賴を搭八级了 佛祖の心ろことからいきりしえ食怪の三を離る うて幸をぬくるすとは一後の人の名かとりくろん 世のするわれていいなろうかけはなろれたいから て努力者し他人了她を食れれる凌き名利以 存るおんはとういまの籍置の廣大の法うかしく

一の是をくちくりくの形を持る治縁を出る祖の 一般が入りつ中を報じして里のおう里を意けるでいる 入り乳の角屋祖太尾を切りるく今の何山何寺と 来を問得一親子兄弟妻子の世の地を煩心的七人 炭のわきらあれ端のやりの時月血酸を奔りてるよう 不可思議を自得了を得る佛徒於得為了人 一天台へ入了一〇三親乃旨を明一宗旨了の妙智力 道場切一同一了也甚身乞食既死去人为多多於 念私の好者の多了或家家本入了即身成佛の果を現 如果の指義微笑の佛心を持ち、弥陀了本願也まして ゆか、見しましてもでんしていれまけるで養精を 乃境界がれた世のちぬ人かるるあれるとうられれてる 是了多一誠の出家とりの則文多の通りく今世まりの大食大

院のかかちといろもかしてきのする様を多くなるとうと 今日域の溢とではるととくとははなるめである 故る我律の僧からそれしろうれのようでをか往的名 在眼誤りの一院か印度の公果域か渡り又本朝事了 堂加藍を建了人教僧の客と塔中の坊会幾許し ~ 夢をか人堂塔を建みうに佛殿備坊庫程方丈子 堂の来迎枝を銀をの人領彌煙の珠玉を鏤めを持上人 不審あるようし歯時日本ようの所の諸学の本まを 起出寺松乃島下を争りるい如何りて乃東して多く 色衣香衣を暑し紫衣郷えかりかずま寺を正し 子八百二十五十月十月萬七十八年海上京十四萬二十五十五枝行京 千八百ヶ寺 真意宗の寺一萬八千ヶ寺律家九千百五寸法華点、五 然合せ季じくうりのきとうゆりんれる天台学の寺

をかけるいえの結婚のなのるいろうとうころんや ナラ 数合で四十萬三个四十分言しいしひ日本 四中で子ろろ 西木願寺四萬五千八年日東本願寺八萬百二十年司昌田門徒七 六萬七十分青大各佛子五千百十分去了可養學不萬三千二十五十 曾~明中了日本的群教の破了人名回民的出家を完了了 はからい調ん言語のいとしていましまるなみのますとい 隆からかれてち母の町を不知人、神祖釈如乃身持ちらん 地を塞多了海小公公路思時多门了我如教公乃流外 千五百二十十十年佛光寺常八千五百二十十年到然~ 宗數合十三流 了いてかゆるかられをかけてる思教を過ば国民 載に是をいくるかめなるあると一人出家をか、回 頭了出後是一の人かり如竟一の文主番客了了多好を を一人奔的了から往古いなりと人を書客してる 臣一人奔了了那个一个一个一个出家一

の行為りなしつるしれ四十萬八るままかは居丁れ しいは時間視いるそしかのつしょうけい大めの書をれ る為以及以孫凌玄孫と随ゆういるの野を開設了 今を移るとかの所謂的朝家小多くとしててた徳 家一个子路を割のそし己限して子孫を割り後の方式 題る時公国中民教不足があるかの地人のを成せんである人生 いてと回人を成とのはりしるまめてして徒か回人 忠家を見し敢を受し天平宝字八年西国的銀香寺東 御守心防者 國子的人俱那九十七家を許了你聖武夫皇徒 好了了一天生唐士、暫人不一遍本朝欽明天皇乃 你了家情を笑すてからへ、巨萬年事了他一次的皆学多人 ゆう一張の鑑真和尚未朝し、南都事大事な我壇と建 与中小度者の科係を定める心,手中傳教大師以數以 國小藥師寺と戒理を建し、歌時出家勘多知事了延時

引到了一个地人在下的人の過了一人出家を 到了是玄蕃客の同人所以之所の成婚の似了發を い路でしまったいとうを到しているとるのとる かったせのうというちのうた本のを多くまる 人出家之后的大和国事大事、中国人多家才写 戒遭を建の聖武の御代之所求建多大品例の流型の観 13~ からなるの見まれてするなくないでは国星町に して成とうなのとれらてしておみり自動をえてきさ 康山の戒遭建多の多少學的ないことろする下面意识出家 看寺山町の人乃出家子の街上野町薬師寺、東回の あていた地のの一是的教徒一及階を多れて潜正法的 職一公上理寺至維那是在三個人多方教接校別高 在了人在沿在的其一十一時內於何阁积是在有 法教管都了公务属了四百年1 清局五百九省六

か多くゆる是秋つの投上的了人的的衛座主人 の後指のそくかきくれ僧子積字年陽鄉積り上座 くせのようい方となくして使動うと悪してのうく 一分段了沒信老子人和尚上人生生的了俗 京山でかるを設め上下を製えて路を多う生工に引く 古い古書職原の戦るるうくかいてのけるするとれるの 諸寺諸山魏夕堂とろろろろろろ外子舞氏の一道 かる事的を置す格を生し看を強と山門寺門を始とし 俗の外子教了了道子了朝家了公衛音を成了武家 座主長者長吏執行的當事富多者经記公寺也名を うかけままの恵かりを萬の僧をうとういかはくとうい を地震至し今で家を出る物境界が又名利了了一已饭 磨き宿を冬かりかる一天寺入院了な情をある

いし 致めい回る山かんせを随きみも在着をとくらん 佛子一思を中的りを物~見的了行脚之人古路公 年一人的人人多人作人也我们的人人的思知就是我 かりましてあくからあるるいろうできる を強い時している。ころのあとほをましてあるのある かんしむくれりろうとかくすめるるからろういと しておりてきまりに思うというまないをまてきまったり 我つかろして是まはくるとからしても食を吃めてする しく门徒しむし秋地りを持ちずりたろもの人うか 書が明らからかかならなと足らり、防かは多独の人 そうとは養ろとうのかくないととろいる味のう しいあのえのかかというとというなところろうで ない またできた一の四十天三年紙事了八万子 限了意为之中的意思。

感しり質めい強あゆし見ているの骨をかりんし なりとそろ人的了一事事言語を建了多樓小樓 人多し乃藤用作動品安藤冠里りんりるういるいた時の らうそかにかのことのまないと、高家電人といういますか をないうんまにあの境界しるかといることからう 鳥をいうか果美酒を助ふし寒の慢れ深及が 是を正風の加祖れくれるの室のきしいとまりますける 各現香墨を摺句的以外波味中腹を插一光 はなくる防の軍事的と八書 席るを書くにし食かる 僧俗了与父看得乃町人惠家乃世捨人了若日一是的之 あろ一生の建一般一年の大日前青の人はかし一枝小の壁し 七子〇了一里月以此乃與九之爱而惟一一子の金月二十分了人生事了 そいいしるなあの人、義詩をおってるという かい 過点益養了人人以之為大塚和乃文里了

乃心後許りそうの和此乃乞食乃院乃後界了 つのではんやいかれ僧家の勤らもオナイーかられ 館象題一个公出現了一个知神法了了包見周町~ 门納乃大金的後子的一百多飯和地一歲的陪鉢中的八 人里今大寺子如今年 理乃防會 佛事供養了家僧子 羽乃太京良益了豆店の乃養を時人電的好をかる 傷が御い当くれとく直青のまいかんしかしなし 再まるとるなりるにはいうりとろうとう 面の客水廣野田畑をあけるるが的神五五人多人 めてんれている難送し是全く時場りりいいから おうしくばられるうとのかれる前の連手の超過して れいわかれ人はまてるれいないけれていたの時 追計数のしてるる 殴のアノーアル国席がりますの ~ 两南江北美濃尾長了篇音歌四全又至真的意义

自傳流信德仙人思貫宗因此此好改人乃名了了了一日 流耳嵐の西流五光井の教野設門水路瓜丈中了流色或い 乃七部集至了的沒句不是之人了以美濃的芭蕉流平地 下恨の君的也解脱了情也まで名人多了人公河也多了 るといるにとないしるなると構へいはからくしょうせ 流くを多くはあられ都都時~幾何多中其流流を多く かれ、我買了人的事的金馬多の行論今八字の~人生家~ あとはになるのかんからうちくかのかろろうなりとのく あちいたのでいける一例を集め直倉、和二十萬三千八里了 おくれいうかましいようときのいえきをゆういちは~ こんくお教をあつしてしてもめの人心とかのそのうとと母きを 此所多江湖被府的、說法該表法該如人之教祀 在定達壁自一部心情を多く集め一家人を建入 一一一路电百萬多~一枚奉一一端山諸寺是意思多

然共聖上於自然乃即移犯多月一人的一多世俗乃能雅多 月花が多るるかと、随意か致人しするしてるとったろう 用ゆる者を配きを知得していますとなりでますと くきを教してしてくくるともあるないいかったと の佛事はそれ時はをそのい最重のなるはなるに教しか 干放四十八成的鐵影公華會文珠會放生會了了之一家 大會艺設了子部八講職还御影供御艺香式鼓用的構或 本ま式をより得受をそういいる道を道してしてきり 事とかりいはしるそうは事あるありためられからひう 了了了了中里像是家上的村式再了你?~~~~ 智是な勢くるからりかのというとませい高音のか 禮節のいうのといるかりしの意かられる文をきる 治しましていている立正のといういるできている ~」直說這人情人了了真乃式を以為了船間的。

いのうりかをましているとれてからとているろ そろ名分美港山山南京と考る種の投るともの いる失禮があるあれれせる同しせるを奏しき 事子 見き己っせを母あれるのとう一方食住了三を月天兄 自多れ方向自力の式多新とちつくるく人のよう そうけやとう 在所の土藏を接入的能を了け格子 当しちゃりからからをすてるようとうとうという い一张くせんとれる問題しまれ、高家国务の多人多 てし足等いりかしるは小いときようの方のとう 難行四四谷をないしりまちころりつってくれてない を見る水を修着者殿上雲端了土降ると生里し 了如今日、接班を後上活計八十多的了被骨、发 を設ち家族をすくとするを愛し明られまし

公時的時俗華人和本的多人的好人と好きべき 秋の後し十連編器を男的給いれな通頂ありてるい こる都部神麻を物を持くてのこれいて其真 はうるうはきるふはそろいていかくろくなる 祖的意人知了情人多人的門人可能是公的沒 みかいたれるのき世の其風の二人、疾風をみるのでを 即也~母表了以為之五暫時色月雪水人の多な 一会公司の風雅一会はよ今のな人属世のはほしてい 公了真似中了ま本学真如刀用的,好了上人な 公司の直京加了~心のもつるいる人的一般一点の諸然い されては何のちるしていいろ気受い関東かるく 貞徳芭在了年月 かとをを治しないなかりとう かかれてははるいいとなるとはり降人の姿かく 見も常住佛性の蓮ろ花の関るしみりをア八年智

句の親とくり安えとくいうまろうしとくらずかい 朝のちろいうなるのといるというをま一つれできょう で限わっと持一名的八時の勢と添行の達い人人 お場をくく持りてくるなくというとおと物了心致人の捉 一向合めてしまをとうかくめるとうからんかくか いから類節用をんる心地しままり見ひかのといういめい くれてくうに見を見いる精進をいる方気をするろう するろうりでは、故人書置るものでれ するれ書うののうな雑語のゆうな語のやとし成め の人、自然から、あいるのでとうになっているの数して むないほしき者をようとくとれる的の直接の あっかるるの其間としていいまれるかってい正去の いれるるるかいはたくしてれて、成ろ詞しろといはた 短力の野技机的了一王著は一日的多支持で多代

自然一個她の住境大學過一分一般的之心を含了 唯以見了是人自如此犯明替是を了面中時人 花到了了人的意本身小佛書神書孺書雜書 たるのは一会的できてかのというとおれるとかし かとしてなの見解先師的新香了了と其音子的 北人の目、分なのとかり 其角なりまりの島かしてして 何たまの門を人雅然、大田電池のあるうくは一人 道、博人自己是一个人不可思 公和小自多の肯方沒をかし去時一名人第一名人生人 絶るる歌出い別詞の光りし味、二千歳の度からにくうと そくずいあるをありいまれるというい日夜でもいうい 終り近けるのといろくへを道すくり難りてし 儀明生里雲小少一月里雲乃教小了八排路の正風公羽子 あわくるなはなるをというののはずうらんいいい

三日を曹一くし次の人又必然一時中的も白を将入公 事電電子は中で震自い一六大数とに限し或時二日 ま入るとれるののとうとうなとかし詩音連張 ちょうの意れかしはくちょれしまかの者に左程スト とうして一生とはるとろうしまかのちなかりい自ら 少に品味を得るとり 教代人の子子練月報して とうかいとからかりまりまれるいからして 東押かかのしるととくそいいかれているというとれていくと そんべせのであれる いかいろうとうなるようなないろれているかうでえるう からいるからなったいかりまっているとう ~いるを考えまかのめらをのもったっちりしてようめい しているのかとうないまといろしかしから

数多了质の真切の2日~日華人格日花以子話 れながなえないろういちゃう あったころが得るないとのうかとのととれては 山田いいか見たりにより自己いるもはますでするいるよ といれるとうしまってもようにととるれるとろ えりていてる人であるよういあしいめを指 るとすりいけれているかいろうかいろうかいろう (~くさいをのまっかけるようかしまするかりできる 半月一日のは足をれてるるのかともれないかい でる~しぬれるいちのようの思うのときよるほか 到我中山自助る名をといる道人也に自田山共衛在一九月 の酒ーいてくあませてるい時の書かるのと新 とのしみるろなりと一般はももうあの配てかけっく しくもをまることとうれいうるあけるかくすん

あいなりとときないとおりくれているとうできていていわかっ えるとから連伸ひく同一後哺了ある まいっとなっているというのろうかし 事しるいで論、と思うまるとおうそそれない ますしてしているとしてのれていてこからからかっからろ きしているからしる動を持ているのとって るみないろういるとうしたるいのろろろろう

ムかくならんとかろい きるとして言葉いる物にろれれるいといというと 

からのれてあるいろる神のでをか何らていかい るとなっていているいというないるあのう かく若テのをひろるそれい 後の脚がするるあらん そのかりいろ人のかんとかいうるそろうとうかいませる

ああしからはななところのとまれて 陰と りという後書記い方のきりっているのろういろ しゃさとろうのでというよりとして神でしょういんよう るかとか何のいくしかの後書きい一ろの名した けっちゃんへのくしゅうころうるといれまったん かいりいなるなるとというしい時のあれるかろう 長晴を含くまるとのできるくちゅうと そられぬるまと思い唯発度しるともつくみあると 四季の景场不生沒る中持一人也没行政是的可以了 のけるるいというなり同ふ古人のうくとうかくあっ かなむ一般人のとまため、許しかる父是 を不把きれるのののあかりいとなってはそれ なれる時~人の中で了程の句之里是~生涯心治 後代人長味をやるとしまれる見えるのる

校きやをおく古人のもをするうからもでに腹でいる 公羽をいる古人のでととなる知くるい書しかかである くれるしてんらればしているはらり かりましてるとくるののとうなく解をすいいろ 早台為は評論らそ方見れてのとりたくろうのかれ い林正南しゅうといき、通話ろの中さらちのる うないるとんかえるくろうちょうちょうりゅういん 佐芝はつかからるかと 日本をまるちんしょう 此可不多的意思了了了了一个人的人 での場でですのと、多年の公告してかる~ きると古人でから方情の話ととはり、真 をかれてのは何と面白し、酸とかまでかったとうく りてんれて幸隆を見り院通茂了~~ まのれれとれくれくしつれっちんろうきもいれ

晋子っきるかくろくかんろうりからせんしまかきろうる するのはないましているのできますよう るるは達者的使くすかして 神社奉納のを信くと記道了ら歌かくしましてうれてして の事みろと路かっていいかりいせるうりいくるる 見をつくっちいいいれいたこうまなしる 多りして家してのるの妻ともいうとしているのかと 書かくしくいしるとしてるであってきないかられて いるらまを打造し到しる答と初をゆくると いすいというとそのかはなるまいなるまのなはしより あると言いのくてくからり、八幸ない如何のいろうしゅろの まるましていているののであるというとしているというと 時ありないいっているかとうかとうといるるるとはる

今川家一西三牌教を招待了了連河兵川其時紀でり

きるかしくせいりいなるといるないの

いたしまちのつというるというとうともとうで かっときできれているかけいらあれて、数度い過 己小教的一時に一直以一三天吃賣枝でり的紀巴的区 いいかいとうとういうかいるかととするとうるととかっている 正是乃持行之前之降我代得不知巴方部道力的

27

新院即會心心候羽林乃歌下 山家鳥

なとうとうとくろうしとしまるとうなはのました たちってかくるかけるからかっていれてくり いるようれているというとうとうとうとという 右のうとは自主のからとしているのうとうとうとういろうち

るといと我しっていいの是にくのをものろくかしい

て上の土材りしていたりしたといまくとうことうとうとう や一元をかしら一道了了家見ありまた人子是路之 むり一の神の貫いる他好的はを招待しいりつからか うからい一座の顔回りかくし そうるる相様の人をあののでいるとうるるはといろうい そ過らのクーしてくれるる面白なくのといちは程する 主のもくするかりいることなるのりいろくは我の えるようしるからるかけしかれるいかいから 利はのかったかくのみかしかくとはもっちれていっ これをといるのうとも其角へろうるとはなる。 人と動進りされてきないしわれるとくところなるろ しいいるころとからかりましているかいとくからいく やしていれようる設まいとかけているあとってい 時電空甚座小服一品以外是分子了了了

をにないていると かいてもちんいてるとあっていいかますりかして まるとのでするそうではかまりいうかけへ見をよってやり しよるしよるのつの多りしてるれるのでこの心と時でも

めてうきれて中からからの人はるいくなるかり かるれしまうとくともうとう失しめの何かろうい夫と 付力場ろの付了的多面了了大口二間も三間も天子

でする半時時では、う電の

或時連行

Man Band of the Band of the

となるとする

PREASE BELLE

言分紹巴。例一便高了多次是安下了 となり後ろくでもでかっておうしをのましまうしまい

うけるおないいかのかろう であるとうなりて又かけるいとろのか時間也声い

I ON RESIDENT TO THE STATE OF T

とるまったかしまるとあるのもいのは見をなるし 

通茂でぬしたくくまろろおかり

Liber Color and Dar Show to Show

若為りの首きといれてのなるとかく引っているとも 全人をあたりつきといる女ましてはるうのとまる ていいるはっくしてませてきるのかっとおりてもして かもあるとりしているとしる文字にようのの事かり 和のないまするるいやないませんできていませんで はる文言をそろんとく作しくてすいかるといからふ

そのというできてのあるいと面白まてのですと

CARO COMPANION OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY

けっちゆるかかり製面してよりてるまらの 年行かの榜強了るくりろして大切~の得多多り ア陽大物をあるようなな~如人かられて武昌遠 高送者子子人子子子子 かんし田かとろうるうしをいきとうくとうそうのり 多なのるというがんでからしているのあ

ましょうかいれるりたのを指すないいろの たりいろうかのれなりであるてくれしかってくれん ろいいちのなのうとうかの味りんびかってもとうな生の時やん 程はうとなるととうなまったっととろうととろう 此も首うとうれるな歌しているを可勝うとりを四とる歌 あるところとして質えるかとかしても皆情 あるのろけるののかりつろうるるといろ

うかかいろしていれるいいるまりっていくまっく PO BUSE BLOWN TO THE REAL PROPERTY OF THE PROP いるのはの物をのかしまってしていっちせてしていかかるやえ かってあると話ってるというスの日本をいりしょ とめくをありていているにろんなるといろしていろう

福乃為仲了一个隆惠守代任了一个了方向国 回る~~梅気指動ととうしてればいるかけ はまっているとうろうっちっきっ を争し見苦数すかいるのんといりの優美き事し るないしているからてあっているれるとういろ

かんのちは神るいのうからしいりろはまるろうなという 以前、頼實人中小人ではずかり、手ままうかたまりんとうとし そうかったかんの神雪したしてはるとからうのとか 本るようないけいしてるとかがあるとかれるとのおものなる

なけてなしなるなりとしいるというまでは弱あるようないであるないを押を注着のなどり いれるとといてそのうとうなりくれてのはです感し をえからはいるうないの易く命はいっ情しくい りして我をもうかりいやし記言しけいりい、親貧見 必らいうすとととくううるかろうりかり 書一とり具題 かそし為秀出生の命一首風震しの短冊をの時代古 むになっきりきしくなーとませいを用るのかなー 格散容录

RENA 中的一是人心中人也一環要形の時間發明沒 とれいまとのといいかいるはあやらむるうのをゆると きるといういのかられるなのしれるとう

れるいなむとうとい上とせるに崇敬するまって神代う

る時とあせのもれるからかっているいとうなけるでは 敬られい自ら古今のえかったりかかるなますしたろろう 雪い事で一連門というのを見しいるいますというとう TO TO THE TOTAL TO えま古者の人名為事的少古教子 る明地中一季一人、宝 又光東公子り一日の本人限了ととあちて祖一多子 う時地下人子人いでいますからとすいえか好かかった」と 神代の巻き見あるようまからしているとうとうとう 高を切くこうしとかでれていいいとりのしてうからこう 多なといるうまるとととううしか書のるしかり まされて限和書かいる数多し見れるからを山海からる 我風の語ありせあめとい不謂あめりせとうないると情ものう 文書からかしてるとうというわかんとしてくし かくかたもはの連續了るとあいる一神代後

そしは出るおうとう見なったをしてするいる 後水尾院御會の時沒月 追うなに外を引人の事うるらからいいれてもるちという やいれてれるかとても能くではるとというと 人ろうのかってるしくろうといういあもつのはてくれら うなくまするとのかっとういとそのかるをののかって 多う書ないかうをおすんろう同してするちん 是を表するまなしとかあくとわずらかのかつると呼ば えるうるとそれりして設うるみ書かしている してきなくているこれやのかい かいいていいとかくとはまたかまくかいるねしくる月 のうこる思いるいとりえりなるをとうなと ころうろうちんろんないってからいまくのなるはっと

きまりいまりしているのなくとのではいますの えていまれのけっていのはいるとうかる又もけの関うけった というのであっているとうはのくなっているとううると おあめりなとっていきるかのものであれてもあること 正荷随幸のからくっていろくものとうしたまなる よいうでの成就了~~の行了」切りはまん了し はようとはろうるとまりもは氏を百色具まれる The state of the s からえなおうちんらんかりろところのきなりはきれいの のい何なせるとうなし調書かくななれるうかくとかし るよういとうしゃいませいるときないろうとろう そろのよれは民的語く差的以一又教子の時人 一代を旨ふ家しから世界の使うかけりまられるとうましては 細川云青的印の侍臣的官本香左門孝庸一八日武文

な你了故切德人成人現世色安福年後生之疑い了人 サーでできるからいまから人か使うるめのきとしい 原しゆるようといならせて役的をを一論いるようの記 のいくるよろるととなるとこれはいはは、そう 免費をよるけべいいれるとしいけるからいちのきる 往生をの故や我朝の御法ととくのであり 具足して世界家生佛里の妙意を着りして如来の三十二相 家隆哪和歌謹項目夫和歌、胎金西部天地張陽二儀と としていとこれようしてはるうしかしませるよう 誘引とく用をでしるかんのであるかることまない のかいいかしえおせのるまをとうなりかっていか うふるとくは多くれをかかるないなっているとし生く 政光斌的人の文了了四海皆己多打了一口の劳をつけ ふるとまかきん時間まれてないけからなのろいれてるか

とうてのいはいれのはようでもとるとろとろう ならくとからるでしてる事でからる、天性粉をしぬ めれてあるいろうとかっていると言いるからるころろ 家ははばのきるようれるでれての中であるら そろうないろうてろうとするようてろうと生きるい するのうれんの中であっととしるないのかん いかりろくしあるなの人様をはなるをくし らうかあんと大方の人二入ろうを入る事一時れし るの書ともいろか進へていかとえいるけ座 言か事」きりい きうるままろくのなりのありん 又一生、面白句の白勺三三句とみました的大りとで勝り 自然一句每小葉名則也出来的 れてきてくいはしぬいうののるとなくわなった 

きつりしていましばくんできているからうくろ やるになりのえるではいられているといればれる まっるからするのを見りったるであるとすり 好的をれるころのとかいう一生生 とのうまとのえるはんからるっといういうい るせったいってとう人気なっといいろうちは早の日 はくからないのかりありるるるいるとう 投一一一記りをきる世間のなくのまま一年かる 事題了~我~公教了一人也是人人多了人的一 すのかしていてくりかってて ちょうかの ろうくからくとおろうかまのゆするとあくかてす よう母ものし唯路終のタとのろうしんし論言記 は師は高の強人うとせる無くれてまれていてしているという けらうくてかしてよるの成道理かりと我とからそ

書入自司信の人の進小八八八日の是を九男人了了けます了 できてくられり八文智恵才をしてをありて見ま 丹花を書向かれるいるとの成りとして 宗統一代海魚小花三本サリンを今長了時宵くなり、花 東部留了了, 動詩をあるとり、東京連派とのまた うし昔いていろうといれのもいを送りまりますのはある 或公明中心一致教人了一个一个人的是是一个感情 きのちゃかなしそからといろせってるあいろん なのからいるるの書しりとき中の福美できるしま せしまりたの句をあたれるまして やうかんく笑壺の音というとう かし歌るいちのははとろくのの対為するしているか りいかとかくていたとろういはし月花を右流左死と

いのるせきといういころかしてかいかとめにしてる是を人 まってあるととうというのともいうないとうとう の人かのういろうというというかりまりはとうの世 さつくるっていいいいのかかいっつってまとしてるると かしまれてきるとういろかって がなりとうるもろとろというできてきときいう EH-USCA-CASA-大りたくのというなるとさい一生の点看之時ちくと と同してしましたのべから、ころからなっています。 一般のいかおろうとろするとうろうなるやを重きて 為見し切思の許を食しるとに生中の人かられるしきい の你的いりしず計りをはりるの時からこうにきる 許せいのうるとのもしているのかりくしろして しらったといいとはあかせるりかいれかられるかし

事の天言ろとなりとはしてかいかりなんろうなく いるとはいいとううというとくましたべくない いろう人も場中もわってはなりしているいいろくんくいない ろうの唯人を使からまれているするかったっと まといってする人を信のるろとの 白又を表あるるい するできているとうなるないとう 果言となからはいはあれるからいなるのはありると やれるつうえしょうくったものとこれるとはありてい して後年入院の香からろかとれるれたりを依然 ときとくるあるきとそうしょくかんしとろういく ちしかしるんなめんと表言と人かし一生の移物の大き でいまくいの金とお教とれれれていいの句を思うい

要をあってかりかり かってくているまないろうできれているななるのであった るというとかというんとといくからている しなったいいいいのすいかるまつからかっ

しるのうなり 智古董事舞上人とうろといりの事記と多味忠勝写

Jan War San

せんりとうひかなかくろういうくうのちろうちょう 

となっていれかいっして

おうれるのなんとうでくってもろうれない わきしいの他の陰のいるうるかりついろうろう

こといいててからからのろうのろし

はかいいかくないりれきからのころがかく かのくいなるのというのはないまっている

おりきせとうなう それいいとないろう

されていり国のなっているというとれないとれない きまっかいかかとまれずけるかれてきれてかっきてもの

是いますかりというころ るとなくるりかなうるときのありまるころっていたか

れるよれの事となるといれるころろうといれた思

是いめのるとなって

あくやうではれないるととしてりましていうまかけのき、 いないるはかっておくいかっとうととかそしとれる

是、情勢ろのあっきいしえみのであるようへのあっきあり るうしまとれるりのもとをからるのあとし

古かけたからというとしままるかろし

あうれるころり、

wasten Die Range Born Hair Process

かられて我かられるとは一次の人をあるまでいった

それ、那をのくはストウマくかし、乳は色にいてくしいり

なっしまるとろろんし

されれていてものからなるではなるのかのまで

きせいりんろうないとうなるのできのいろう

あきられるのうのうないに然くうできるかかりょうかん

かれ、それらいしるのでくし

いくしよのあろはまるからいろう

いのないまれていていれるなめるうろれませます

是いるるのでいめら我をようゆりかる為氏でのは説からて

ならえからかったのろってともかんとう

とのかとるかり

されるとしていまするといるとあっているとうと

見らいいろうちょうのかくし

かしているとうないるとうれるのかして

くれていてきるからいまれてきし かったちのあるとうないいでからというとう せののかったとうときっときついくでんと

是なるのからくちょうかり

ないしこれり

、手はちの名からなり一つするからくるの

いったからまるけられるからからろう

Soll of the state of the soll of the soll

そしているいろというるからない

むのなところう

な買珠玉次、緒と命と三丁とし ちの歌としのかけなとういれまするとれるもろう ありでののなるとうなのあっているりのからとう るればくている人とかっているつきつらりゃれる

うなろうかとってう

き湯はちのは気しかきあろのもっているれかであ そろうかるはいのかいろうのあるとうとありあと

してなるとあり

子代、蠖埃しる去し朝か生——黄小死や野蛭しい すったはそうとうるろうのタをきていくるれし えとかりかのゆくうときっているとうれのとろう

それっているいかありてるは後のですか 是時やくろうとといるなかりとうころうとうころ

あってんであいていまれてきるかかっていかいかっち

うれてすり又略時とる」注解かとしと時時記り

307 23 A A A

いっかとうからるるから

えるとありのするいのでんろうないのはあるして おとのり はふとんくときけっちかっていると

おものうというのかるかってくれるからあった

了、後次大い 似色、かり

りるとなり

なるまれのみるはとうけいまれればられてい

Ander The Brack of the Balling

かってかんできてくるとのないかいとうかいかっちゃんかい

一つると のい おりれいろいとか りょういんし

かん しからりょから

こうころのはかいけいてもとるなるへとなったろ

and the contraction of the contr するかろうなっというといういかから

一かいいのかかいかとうかいるろういな

七年四あっているかいれるといろりしい

あったる物のまくりはくくときまするかのかろりる

是一多少

なかせもうるいのうかといれるようしたけって

といわりついと

れないとしてきれればあるれるかとろうで

足ってい

かくいのとれるうるのるいとまりのなかっていい

足、雑な

紀巴約の連等のかるしを教工一書からせれるか 調しているうかけらてとわるいく

7 47 からしているところかってくてかし しみいてらんするん ニャハック 一かり人のけてくをうし二大りててをするとるし 一かられるしこかい水かのけると 一かいする一のんニかいろうのろろ あいるかかくとうのかにかいかんとなる人かれてのかり はているのですし、なすらかでからい きかいろういのてくせいりんかくのてく 三かけんととういろし をぬっているからい

まるしひ 一かい おりする SALL MAS かろう えなり そろくろ 13 一次分かりたくし からるながらし 一もいますのからいろしこれはのうしを了 一かられてててするとこれに三十日をう 一かある人はんその人ぬん二かられたるとう 一あいるとうとなったなこれれるとうというこのとし まなって 二からあるるないろうし ニャッゆくまくりんし

正将随はすりなりてきくりるはかってもらいいり 中かりをいるれかちとよいいはをうるあれてりた事をあ のてまれるかり

200 1553 2 下知りいせらりまえするかとかり わけくうしまともる又かりろくちちてというし ないかいましているかかりかりかれる

おいろうく なあをあいろう もわと記してる

こんしてのとあり あくしかしかしてんとあう

かいけんか われる知 ~ちませいからきてからむなちはなど又称うでとかり 朱子詞曰曰天無風四溟浪息息人心風不改波記島百尺是高四寸かくとかかし又かわりるくし風のわりるとりでしていかり

あくも 不敢さしのかろうくめかとあり

おいかられ せんかったていれていれきから

なりから それのしまう くれらかっかれてしたのものくかしましまといる れる もれるろ しるしてなるるかし

まとしてみられているしはけっけおろうし をすけのれかでするかろう まっかいろ まといめってん 借養しゃくからし 勝のマスとうしてとれのわめてをあったしてれいけ つるするともいし あるしのかしてあのちくめっなかしまとうと はくとうしとはっちつみゃくろう

すけら りかときてきんないとせめしまいくけるというころとうの 首のからるかままのころしまのかかろうりつこいまし さくうろう病毒でもし たるされんしみるあとちののしゃりとうとうとも

おらいてはれてを書しめれる 一にけるなる

ころやくずのあった

ころいろいか このかろいり おるいからいとうとなるしきりかいけるのう

あいかかータあいる あれるりろうれしるれるうちろう できまりターかったろ あいかるりっちいターかり それりしいりますのでろからり はっていまるころかれしるるようかにい むるではして月をして

紀里了又成為日是陽親文中為一子打了了理打 雪けいさとってもつかとのしいという雪を として、別解の多りろしてもしまるとうし おす写えのからすのき唯たのかりいまいうに れい持後ろうすか

ゆりているのろとなったしょうとれてみないからの

えかせるりとうなるととしてくるころとうのできるから

は見過級の気か るまのり里であしてはることとろうけるの程し

とうとなるのあれるというにつられているのう いっているのはあれるところものからちゃ なからううかり からんれのうかといれていていていまする るのとうかりのからころいてるとるのときになるからう

ろれられるさからめくしてきましている せのきつのしかとかといういろう かれるうしないとことをおすること れているからない かせるとうなられているののようとからいろうと でうらっまとしてかかのるとうなくできてくる

明相いるったしるしてわらう連れているるるのできく るといけるかのうととういける ると、特めるとりをくろうかのし 入るのりなくせかりるからのののなのとう 分けるとう是いいる 人の知るなれても生ほか誤りそうかれあるるるのと ころかとけていてかかれれてのあるへいつ (からし)

うるなはのでできるく、すってうしてまてからまし 方の過去之元正天皇都は多子やあくりからした思見 代子載集かりるの左大臣かりにきのあるあったろろろくる いいしょうのできまにわのるおれてあるかりしくとうはってく とうからくっている方かなくとろうのとけるかってけるの 必なるとうというなるとんころろう するとうですでうりゅうとう

名のは果でしているはくくるとめてからののから 古う意紙物をなりまりをありまけてもろうという いていかくられまりにとなるようをあるかっているのかい 了るいろして了的室内的朝政的行を到了多多了 こるたのなのはるましていまるのままるかいありるのい

そうないろいったのけってきこうはとしいではる

いりはしゆいそれしスラストははりつ そべてかしてしていいく あっとかっくる 三條可愛けるのかかり書かれてたなり 千八十一期 歌小路枝路没表裏一八再入紅十 うるれめったとうとそれのはるとうなるできるう

それろいいかってるか~あるの人もろりもはいれる回

ちゅういけるれてきれいせのはのをはかりのをきろうす

るのうからといれ、後のるるるるまるしている やはってのかかろしてくうかくの人の生古のかり いるはあるとはのいういれしるまではというけんいろう

あているかられているのかとれるのからいろうでしているかい BOOD OF THE BOOK THE BOOK THE BOOK いけてているとかりかられるできるのから

文をする 天智的了人 人のるれからは、一方をありし おうる人首をからせのくりますかりからいろういろのであと 九のきといれまる ゆうかなしまっていていたれなり、愛ての説している事に ·善機はゆはりしい 生果 代的好人了! 河南北的 主生書奉 よの時でもれる 別名の 持統 多人電~

貞優公 あられ

赤海 はよってという 家徳院をある 日をきっている かる あろう 人もとれるなかられての するとうすむ おるからものとしまる かった。 野川あらくむ 神色与图片 みらる きしてるい Zen it ころからる豚江をかう ・・わけるときっている 出うるなけむし ·梅子田歌を記に多けるさ 人かとうとうかりょうか すのけとなってらるい 推中仍了 ~ かるのかり 军民文 高引 る舟下のほど を言されてて するにいい to man to make the And The Man to

でしてかのな ひかってんかいっくょりし するろしとれ あこる 马魏子高 ある うほうかる を放うをないるいかいと まなのけいめ からる store of a 1983 175 335 するるようかのかう The second second なるい ある大白星し かいてきいるというと 後居民 为是 好多多

かじてかく あとる 第三天 軍馬及軍 人民の多年 子子是 かいかしまていない かかっかん いているう やろかぬろいろしん えるめるし 老子,去了

女务人 九夏 電気の 了はくからかくうごろうのからののしてない 山田は押を えるん 施はの一方のほかはいちのかろうましいいくない ~き~をつけ 心明で様をするしているかまれてなるものうわけり 朝ろうるとうからあるかろうと 正一位 神经出版的人作的的多記了了 知解由からかであと 信のなるとうかくいととときないのか 多在院 丁はい 命をうちくすい Direct Control するなりよい たなると 養被 了了 あるのへきゃく ろっとから まったい ある 文教 将代 子子 するることへくかし 的原子 不是 アイン あとる

を大 時等 江北方 with the second 好在在一个 きてまりいるとのこ 海になったくちゅう あんともうっする えとある こん~~る 受我し るけなり てもろう 京亭的图名 ちゅうちょる ことから

み六日をソうとのと サークかくるかを干むすうこうとい 生いてきてのかいというな すくそくと 弘徽教 ときる ころりんざを ろうぞ けのるといるといわけんとうとういまからはし 三個のくりないな こののはしまむし Jana Jana Jana 雪けのは、はいく からいるとれるしてとか

お生きのうりりとゆくのとしるというしている 路見いとうとが三三ろ言様ととう 強むを ずし ~ 次一部の老があるりますのよしいろち切らいり しいうまで以の一首一句男女もとい人も多り八個子 ないの世界をされてい Orgonia Unana 、沙段み材をでして そういつかれをやうろから

まするかなくつか であとけてはましてないあるし世方一なぞろくある 致すりいけるのでもの藤中時のるのからい

かりはりは強の一夏し見い相崎水以と気を見の達人 なるとと古有るの例れらられるうなる!~~にあれるよれかい なるこれませると思うとしていていられるとかのとうなん 是、即馬哉年也し又る語路の例を写る了自然の開合

又西秋の徳をける龍田姫と云是紅書の錦をある人 作品服子是其の錦を織り路子と様のか後之姓と称 奈良の都の東の口は福山は保川し西のい電田山電田 紡績織学悉く女人の書徳しれて事青の徳を内で 川了春、東方一番一般、ありる犯自然の理也然 中置めかずのゆるのりしたとのあるはちのゆりなろし はしまいるのであるけるこれからのあまうく連ってる

を填み面格とと明しくと足氣の詞也とれいいの 岩をかるといいるというの変とうとくからないとこれのない 職布泉 飛泉ととる宝子湾としたいからき流乃 推語しると水以の説明 女徳のからしてきなろりそのはれの神を確と唱し 九十一多名の外を中午と你居的是 同山の事画を多り 流山城を発しえるますかりくは句から師傳きるま

風雪作の多けぬる

るというまないいっとれ

たぶつしはろし是かるの国間しな事がのううかくこんま するうとれんの山中の川り襲とれるめいは見れるなる 越新家了每多多多了 将軍家一生輕敢上下了又 すせるの生きかっていましましまってるるを社夫と書い

とう思ういめぐとうしてると日本いろうの一唱しるのろ はの原連を被くその襲と同くよくましないまます。 子歌降ると独画のからあるとなると思いてという めとの略到よくし建声かくくなる湯からくとからか 明即相夫なの音をは了る具画形、後八九寸をから それ上了随色方行之人是人生人的心是了是故子

かくていまりもほのるしまえるするです

号ではこえます

海豚三眼河豚一名杜夫

大场的和到了南部四条人是是人的人的人了人的人了 うれんはくしるけるとかっているとんのはの思うはん ふ中するとからうかかをりとうますかりてを大ちまう うを河してるにはあるかるからしている回記もそとる

ためのうるの是ねとくる空のもの故人のかし してとがはられるとめかしるはれのかられかられるいかられた それるとおして右のちのあ中の海豚、山川の髪をくれる 国東中心地产品川表大海下近至一万水上中人之かれる!

鐘の多いて用指をして私文をやしろうとしかの子 事の時であしまれ看中の年度の好人好在の好面

明白の追りかりの歌場でとろうとうものし

かくその子子にかる方種かく其官開白の至り其有い 女乃腹子へいこととといるかれ月の人人典四年也 豊臣太間秀言公其始尾張国中村乃弥助しる農人のむの いるからいしせるとい 用すかのまれるのいからいのであるとうちくっと るのかのかろうりるとしてきてきできるというと ~ はてしてっていいっとうのに移をあるべるねしのり

看松四島たらますりしるのお食のえをしているとうかりて で大村田己のかりく本道を千万利なかろり疾襲の山 えるの金を見から足されがかりまかたとろか自己き 平生のかりするのうれるとの足利将軍家のかときてから 天下をはいまするとともまちいる時の支数何をい くのがしえししてからませいかとれているとうなとある きてきたろうかけるとうとそうでろうとう

とゆせてきても太高秋つをするとう 時世のれるとうないとうからくろうれいとうかとうまちく る神ないとうときろをかりや別し足利海軍の するあるころけを精生れるというるの意い外す いるというではらしているとしるとうるのとあり 或時里村紀巴法橋を記了了家で~一角聚些為 うととけるしておように文かきろうしかるとういうから言い

するとうるとあるなかりくまりゆきませんとうとうれれて 風いるるるゆきろうくとうか めやましているへいっていかしていかしまくいやくはら のきる方称へらくは白をとうめるいとくをでくといろのか れう満生りるから、ちの名巴とれなりは

のはあれるのかる

九年の夏の仏佛路的芭蕉彼太高潮所東山新書の舞山 かっちかきうゆうとうのとしてあるというとはて元禄 はるはをはりましく多しかりやきといきありなり けっしてる関うれくますっているの気紹巴子ない むしかもっちゃいうねくゆうるりまれしていてきれ 一个是你居巴塞多,新的了了一个一个一个一个

書してがあしていてして十日第一の書きり一説あり 白萬、大古典部了了人名儿既和伊弉典真乃怪如子 東理好と黄油八年明乃東和可須後多日東和南人 多足訓派 一管大礼雅秋已死~了意中 豊国の社のむりとおくるようで しているへ、感視らりまと 弱ると 賞美 好ろうしき世できしている

高印を明頭とつ下印を落款と玄封印或、此の経るか いいれるろうれいれるようと こと聞いてろからいううううちれるかとということ とうしているあるというとうとうというこう 見俗子草狗好人湿地或井ののう野猫のいちかり る意教除恐時中心夏~~古語了春隻~~~ 曼珠沙花の如子包吸~一葉、射干が作人又遊尾草ろ雪の の人中打ち帰記用力をいるとし先輩中傳天一草人 一年二名で云说、るせのとうの文面をらの一種で不幸内 ているとうかんしょかからすめるとうかしちまかりるのはころう 一一級人垣衣谷中からのける日東正一人尾ある くろするかられて生まりませる是えりまれるとろ するとというかりついましているところというというというというと

きるのかしてるような 明名いわめをしかくとうしたとうというとうとと 一一日書、出るの意意の古物の地面、一人為死、無好 できているとととは何というときなれているか こうとうかしていりくなきとあったのるよからしょうしょうしい りしてはまるいろうるるのですのもろうとうとう K-E-20 TOTO TOTO TOTO TOTO TOTO TOTO TOTO 古島ようう書者流建寺者はそくの考苑のころをわれのきる てりたのはいけれてするしてもっているのという はいるのかいろのおないっても言いまくとめてくしていると るとうなりはいけいれてめたのまってるうしてなるん

里神子了了了了人的人又日中國中軍神子不 五句去一本中御鄉學乃外以四里神學一名人看去了美多 連教者流の三个里神樂居所的人和我也後多し久里八

いかりまったろとうなりいるないまかってきるれく 虚説を登しるかりからてもたろいんをないなった あっていれるあのかきりかっことをなくいへってん といるとくりのくしる是多相鳴りはま書置るしし りましてきるいろというないろうしていいいいいとうかい まいいりますしおとするとうとのくのうか をはつくうつとすりいまするあは所の御神學一陽来 中根集の説献を強う見書かる あり神社のからまれを里の同かっているしたますとれ を和奏ふりとり人長接物をとうした古左公母品 後の我をれて十月陽明を飛りるおを御力と一神哥 多俗詞の人村里の社子數了多野り一座女子新路 知りに見を神生と了是的類しく国力の大小宮社神子 いくしなるとかいまからうしゅうもしまったし

~周小坐右の書りかられたのでき TEN TO 好説といたのとくつの優ろ特氏の多題 あってくかるろしたあるがんいかまる



